

概要版

# 第二次 えびの市 環境基本計画

水と空気が美味しい 安心して暮らせるまち えびの  
— 自然の宝庫を次世代に贈ろう —

「環境基本計画」とは、  
私たちが暮らす「自然の宝庫」えびの市の  
住みよい環境を将来につなぐため、  
私たちみんなが力を合わせて  
環境保全を取り組む上での方向性を示したものです。

宮崎県えびの市

平成30年3月

# 1 計画（第二次）の策定の背景・目的



- 本市では、「えびの市環境基本条例」を制定し、その施策を総合的かつ計画的に推進するために、平成20年に「えびの市環境基本計画」を策定しました。
- 環境を取り巻く状況が大きく変化中、本市の環境保全の取組を一層推進するため、「第二次えびの市環境基本計画」を策定したものです。

# 2 計画の期間



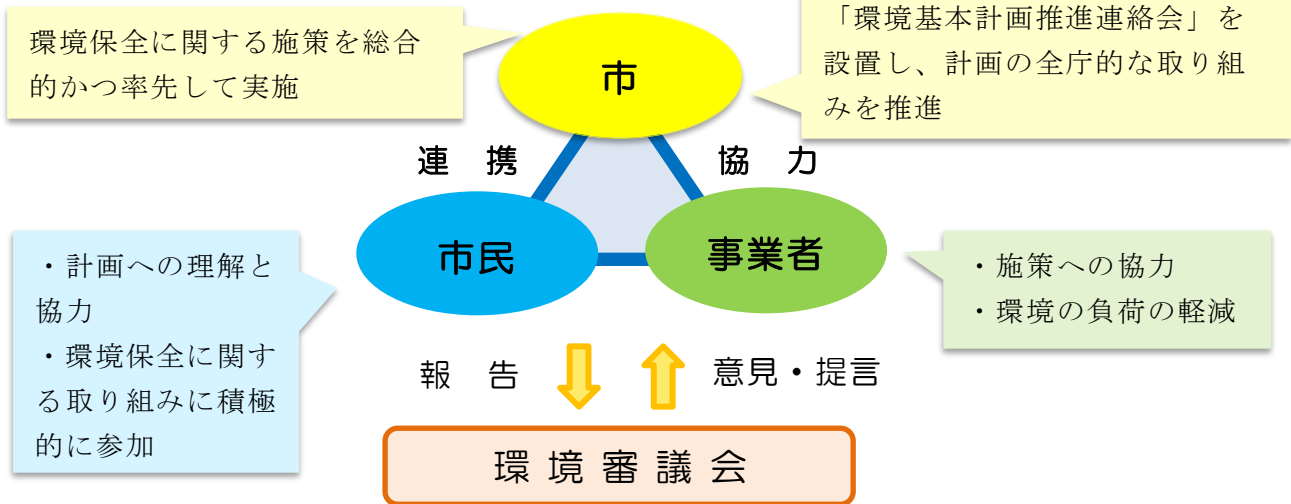
本計画の期間は、平成30年から平成39年までの10年間です。また、今後の社会情勢の変化や新たな法令の施行など、必要に応じて見直しを行います。

# 3 計画の推進体制



本計画に示す理念の実現のためには全市的な取組が必要です。「市民・事業者・市」の三者が連携し、協働で計画の目標達成に向けた取組を進めます。

## 《推進体制》

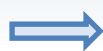


# 4 望ましい環境像

本計画の望ましい環境像は、第一次計画の環境像の継承に加え、市民などの意見をより一層反映し、それを実現させるため、以下のとおり定めました。

水と空気が美味しい 安心して暮らせるまち えびの  
—自然の宝庫を次世代に贈ろう—

環境像を実現するために

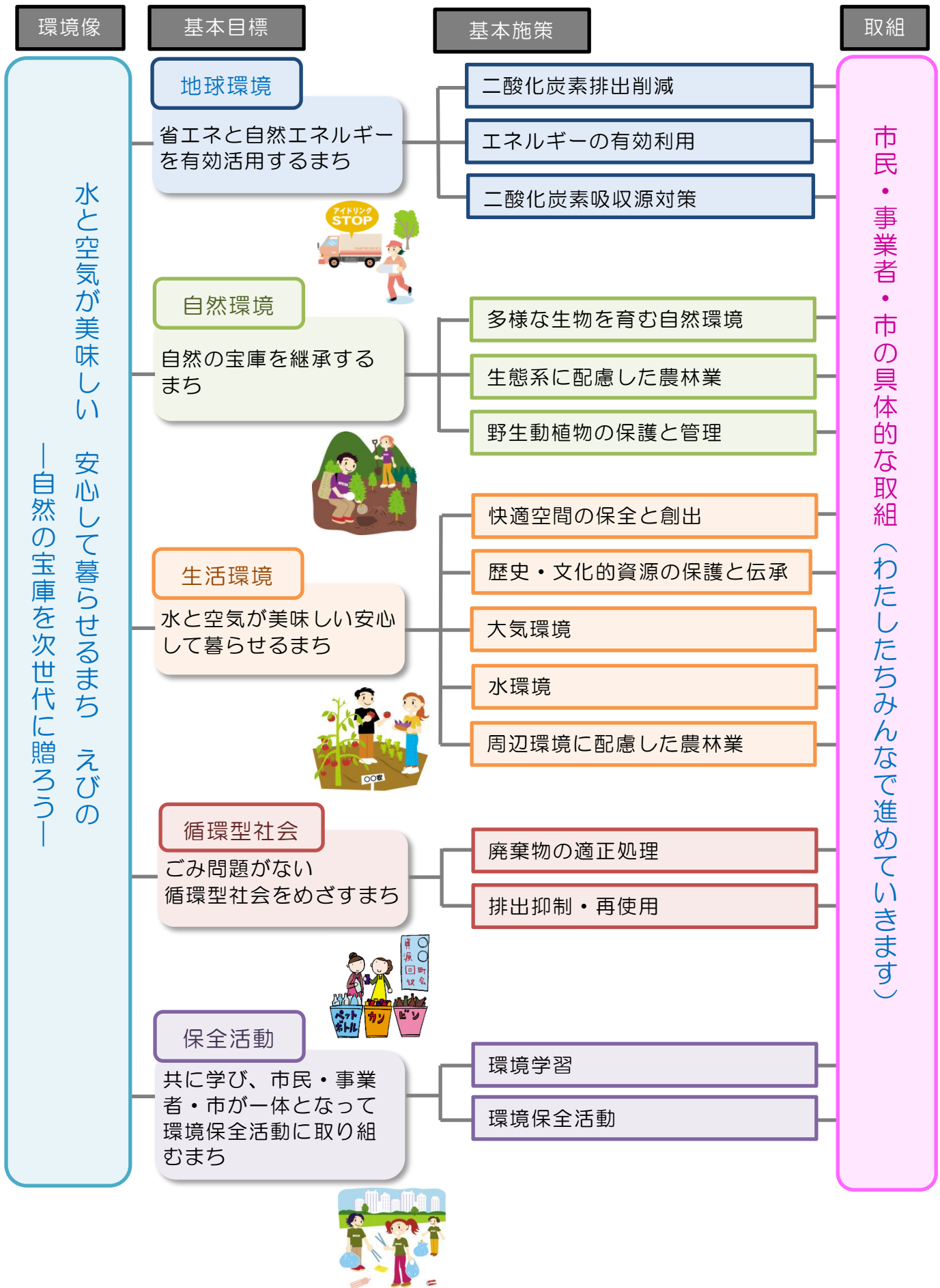


- ① みんなが環境基本計画とその取組を知りましょう
- ② 一人ひとりが環境問題を自身の問題と認識しましょう

# 5 計画の体系



望ましい環境像を実現するために、次の5つの基本目標を定め、具体的な施策に取り組みます。





## 6 施策の取組



### 地域から地球環境を保全

#### 基本目標 1 省エネと自然エネルギーを有効活用するまち【地球環境】

温室効果ガスの排出を削減するために、市民・事業者・市がそれぞれ連携・協力し、取り組めます。省エネに加え、自然エネルギーを活用した再生可能エネルギーの導入を普及促進し、二酸化炭素の吸収源である森林を適正に保全整備することにより、温室効果ガスの吸収源対策にも寄与します。

#### 基本施策 1-1 二酸化炭素排出削減

##### 《市の主な取組》

- 市の施設のエネルギー使用量の削減
- 自治会の防犯灯のLED化の促進
- JRや路線バスなどの公共交通機関の利用促進

##### 《市民・事業者の主な取組》

- 冷暖房は、適切な温度管理に努めましょう。
- 電化製品は、こまめに電源を切るなど待機電力の削減に努めましょう。
- 節水を心がけるようにしましょう。



#### 基本施策 1-2 エネルギーの有効利用

##### 《市の主な取組》

- 太陽光・太陽熱など自然エネルギーの利用促進
- 新エネルギービジョンに基づいた新エネルギー（地熱・小水力）の導入の促進

##### 《市民・事業者の主な取組》

- 太陽光や太陽熱など環境にやさしいエネルギーの導入に努めましょう。



市内の太陽光発電

#### 基本施策 1-3 二酸化炭素吸収源対策

##### 《市の主な取組》

- 未整備森林の再造林や適切な育林の推進
- 企業・団体と協力しての森づくりの促進

##### 《市民・事業者の主な取組》

- 森林環境保全に関する活動に積極的に参加しましょう。
- 森林の適切な林地保全に努めましょう。



ボランティアによる植樹活動

## 基本目標 2 自然の宝庫を継承するまち 【自然環境】

本市は、「霧島錦江湾国立公園」に指定されているえびの高原をはじめ他では見られない豊かな自然環境に恵まれ、希少動植物も多数生息しています。このような自然の宝庫を次世代に継承するとともに、有害鳥獣による森林などの被害を防止する対策も推進します。

### 基本施策 2-1 多様な生物を育む自然環境

#### 《市の主な取組》

- 多様な希少動植物の認識を高め、保全する活動の促進
- みどりの少年団の育成の推進

#### 《市民・事業者の主な取組》

- 身近に自然の宝庫があることを再認識し、環境保全の活動に協力しましょう。
- 自然の観察や体験活動に積極的に参加し、環境保全に対する意識向上に努めましょう。
- 希少動植物の生息・生育環境に配慮しましょう。



えびの高原のノカイドウ



オオウラギンヒョウモン

### 基本施策 2-2 生態系に配慮した農林業

#### 《市の主な取組》

- 減農薬・減化学肥料栽培など環境にやさしい農業の普及促進
- 環境に配慮した畑・田基盤整備の推進
- 健全な森林整備と環境に配慮した路網開設の推進

#### 《市民・事業者の主な取組》

- 再生可能な燃料として木材利用に努め、森林づくりにも協力しましょう。
- 減農薬・減化学肥料栽培などにより土壌環境への負荷の低減に努めましょう。
- 林業後継者などの担い手育成・確保に努めましょう。



田に佇むサギ



収穫を迎えるえびの米





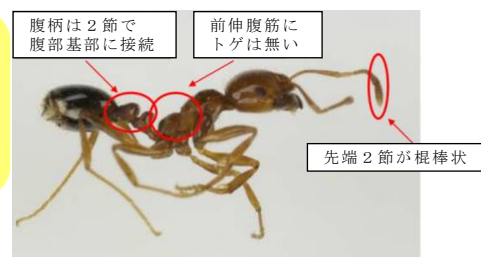
## 基本施策 2-3 野生動植物の保護と管理

### 《市の主な取組》

- シカやイノシシなどの有害鳥獣による森林被害を防止し、国・県や関係機関と連携した対策の推進
- 特定外来生物による生態系への影響を防止するための外来種に関する情報の周知啓発

### 《市民・事業者の主な取組》

- シカやイノシシなどからの被害を少なくするための自己対策（①餌になるものを放置しない、②山林を整備して見晴らしを良くする、③防護柵を設置する、④追い払いや駆除をする。）
- 生態系に影響を与える特定外来種について、適切な情報提供及び防除に努めましょう。



＜特定外来生物＞  
ヒアリ（環境省資料）

えびの市には、絶滅危惧種に指定されている希少植物が多く成育しています

陸上自衛隊霧島演習場周辺（鹿児島県を含む）には、絶滅危惧種などに指定されている植物のうち、約40種類以上の多くの植物が自生しています。平成27年に確認された代表的な植物は、以下のとおりです。



サギソウ 絶滅危惧 I B 類 (EN-g)



カワラナデシコ 準絶滅危惧 (NT-g)



ノヒメユリ 絶滅危惧 I B 類 (EN-g)



ヒメノボタン 準絶滅危惧 (NT-g)

#### ＜参考資料＞

絶滅危惧 I A 類：近い将来において野生絶滅の危険性が高いもの。

絶滅危惧 I B 類：I A 類ほどではないが、その絶滅の危険性が高いもの。

EN-g：I B 類のうちで過去には広く分布していたもの。

準絶滅危惧：絶滅の危険度は小さいが、種の存続への圧迫が強まっている種。

NT-g：準絶滅危惧のうちで過去には広く分布していたもの。

※宮崎県版レッドリスト（2015 年度改訂版）における評価区分です。

## 基本目標 3 水と空気が美味しい安心して暮らせるまち【生活環境】

豊かな自然と調和しながら市民が安心して健やかに暮らせるやさしい生活環境を保全します。周辺環境に配慮しながら農林業などの産業を推進し、大気・水環境・緑の保全にも努めます。

### 基本施策 3-1 快適空間の保全と創出

#### 《市の主な取組》

- 市及び市民ボランティアによる道路美化運動の推進
- 地域の美化推進活動の支援
- 犬・猫の適正な飼育の普及啓発

#### 《市民・事業者の主な取組》

- 自治会やボランティア団体などによる道路の美化活動に積極的に参加しましょう。
- 犬を散歩させる場合は、フンの後始末をしましょう。
- 所有している土地や建物は、周囲に迷惑にならないよう適正な維持管理に努めましょう。



### 基本施策 3-2 歴史・文化的資源の確保と伝承

#### 《市の主な取組》

- 出土遺物の保存や指定文化財の保護の推進
- 郷土芸能団体の継承推進と郷土芸能発表会の実施

#### 《市民・事業者の主な取組》

- 地域の歴史や文化に関心を持ち、その保存に協力し、継承に努めましょう。



西川北菅原神社 牛越祭

### 基本施策 3-3 大気環境

#### 《市の主な取組》

- 大気汚染物質の常時監視状況の確認と注意報発令時の市民への周知

#### 《市民・事業者の主な取組》

- ごみの適正処理（野外でのごみの焼却はやめましょう。）
- 近隣の迷惑となるような悪臭を発生させないように配慮しましょう。







## 基本施策3-4 水環境

### 《市の主な取組》

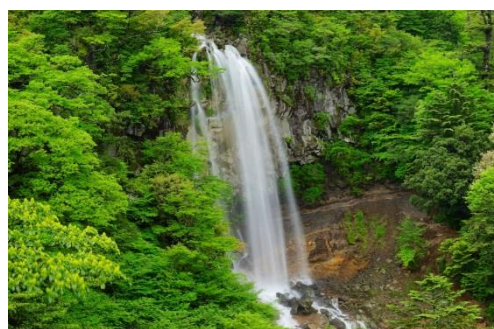
- 単独浄化槽から合併浄化槽への転換の推進
- 浄化槽の適正な維持管理の啓発推進
- 水路の改修と維持管理活動の推進

### 《市民・事業者の主な取組》

- 単独浄化槽から合併浄化槽（し尿だけでなく、全ての生活雑排水を浄化）に転換しましょう。
- 浄化槽の設置者は、年に1回の法定検査（11条）や専門業者による保守点検や清掃を行い、適正な維持管理に努めましょう。
- 調理くずや食べ残したものの、廃食用油は、台所の排水口に捨てずに適正に処理を行いましょ。



市内小学校による水辺環境調査



轟の滝



陣の池



クルソン溪谷



## 基本施策3-5 周辺環境に配慮した農林業

### 《市の主な取組》

- 畜産施設からの排せつ物に対する適正処理の推進
- 耕畜連携による良質な土づくりの推進
- 田畑に散布するたい肥などによる悪臭防止の周知啓発

### 《市民・事業者の主な取組》

- 田畑にたい肥を散布した際は、悪臭がしないように直ちに耕運しましょう。
- 家畜排せつ物は、適正に処理を行いましょ。



内豎 田の神さあ



## 基本目標 4 ごみ問題がない循環型社会をめざすまち【循環型社会】

大量生産・大量消費・大量廃棄型から発生する廃棄物への問題の対策として4R（リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル）に努め、ごみを減らして環境負荷の少ない循環型社会を構築します。

### 基本施策 4-1 廃棄物の適正処理

#### 《市の主な取組》

- 不法投棄防止対策（啓発用看板による注意喚起・パトロールによる監視強化・広報誌による啓発）
- ごみ分別の指導や出前講座を通じてのごみ出しルールの徹底を推進
- 廃棄物処理施設（美化センターなど）の長寿命化のための適正な維持管理

#### 《市民・事業者の主な取組》

- ごみはルールに従い、適正に処分しましょう。（ごみの野外焼却や不法投棄は禁止されています）
- 適正なごみ分別・廃棄物の処理を知るために、出前講座を積極的に受講しましょう。



不法投棄防止の啓発



### 基本施策 4-2 排出抑制・再使用

#### 《市の主な取組》

- ごみの排出抑制やごみ減量化・再使用・資源化を進める循環型社会形成の促進
- 講習会や出前講座による環境保全活動の推進

#### 《市民・事業者の主な取組》

- 4R活動（リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル）を実践しましょう。
- ごみ減量化を図るため、適正な分別に取り組みましょう。
- 買い物をするときは、マイバッグの持参、簡易包装の購入に努め、レジ袋削減に協力しましょう。

#### ごみを発生させない取組



#### ＜参考資料＞

「4R」とは、以下の4つの頭文字です。

Refuse（リフューズ）：ごみになるものは買わない・断る。

Reduce（リデュース）：ごみの量を減らす（ごみを出さない）。

Reuse（リユース）：まだ使えるものは、工夫して再度使う。

Recycle（リサイクル）：再生できるものは資源として再生利用する。



## 基本目標 5 共に学び、市民・事業者・市が一体となって 環境保全活動に取り組むまち 【保全活動】

市民一人ひとりが環境に関して学び、市民・事業者・市のそれぞれが環境保全活動を推進し、みんなで実践する環境保全のまちをめざします。



### 基本施策 5-1 環境学習

#### 《市の主な取組》

- 生涯学習講座メニューの充実による環境学習の推進
- 各学校における「えびの学」を通しての自然環境の知識・技能の学習の推進
- 環境学習に関する出前講座の実施の推進

#### 《市民・事業者の主な取組》

- 環境に関する生涯学習講座や自然体験活動などに積極的に参加しましょう。
- 地域の活動に環境学習を積極的に取り入れましょう。



川内川水系の水辺環境調査



### 基本施策 5-2 環境保全活動

#### 《市の主な取組》

- 市民・事業者が自主的に行う環境保全活動の推進
- 市民や市民団体による環境保全活動の内容を広く広報誌により紹介

#### 《市民・事業者の主な取組》

- 環境美化活動に積極的に参加しましょう。
- 環境保全に関する知識の修得や保全意識の向上に努めましょう。



中学生による郷土の森の歩道整備



みどりの少年団 植樹活動

環境を守る活動を できることから、さあはじめましょう。





## 《施策ごとの成果指標一覧》



環境保全の成果を把握するために、以下の成果指標を定めています。

成果指標		単位	現況値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 34 年度)	担当課
地球環境	市有施設におけるエネルギー使用の削減	GJ	68,908	減少	市民環境課
	公共交通を利用しやすいと思う市民の割合	%	12.5	25	企画課
	鉄道・路線バスの利用者数	人	150,880	156,800	企画課
	新エネルギー（地熱・小水力）の設置件数	件	0	増加	市民環境課
	森林ボランティア活動人数	人	131	250	農林整備課
	植栽の推進	ha	8	16	農林整備課
自然環境	自然の豊かさの満足度（アンケート調査結果）	%	87.6	90	市民環境課
	間伐実施面積	ha	144	100	農林整備課
	林道など路網の開設延長	m	4,192	2,000	農林整備課
	新規林業就業者数	人	1	10	農林整備課
	希少植物（絶滅危惧種）の現地調査確認	種	11	増加	市民環境課
生活環境	道路を利用しやすいと思う市民の割合	%	47.6	60.0	建設課
	歴史民俗資料館入館者数	人	8,853	9,000	社会教育課
	生涯学習を行っている市民の割合	%	26.2	40.0	社会教育課
	公害苦情件数（大気汚染）	件	2	減少	市民環境課
	河川BOD環境基準達成率	%	100	100	市民環境課
	生活排水処理率	%	62.5	75.0	市民環境課
	合併浄化槽補助年間設置基数	基	86	130	市民環境課
	浄化槽の法定検査受検率	%	55.5	100	市民環境課
	産業活動に伴う公害防止対策の満足度（アンケート調査結果）	%	63.9	70.0	市民環境課
循環型社会	ごみ不法投棄件数	件	120	95	市民環境課
	市民1人1日あたりのごみ排出量	g	832	860	市民環境課
	ごみのリサイクル率の推進	%	12.5	13.0	市民環境課
	ごみ分別できると思う市民の割合	%	78.4	80.0	市民環境課
保全活動	市民の学習機会の満足度（アンケート調査結果）	%	75.9	80.0	市民環境課
	市関連の環境施策の展開事業実績	件	26	30	市民環境課

GJ：ギガジュール。仕事量、熱量及び電力量の単位。ジュールの $10^9$ 倍。

BOD：生物化学的酸素要求濃度。水の汚染を表す指標のひとつ。

## かけがえのない自然の宝庫を次世代に伝えましょう。

本市の里地里山には、絶滅危惧種を含む多くの希少植物が生育しています。地域の豊かな自然について理解を深め、自然の宝庫を次世代に伝えましょう。下の写真は、鍋倉（大河平地域）植物群落の希少植物です。



エヒメアヤメ（絶滅危惧 I A 類）



ヒツジグサ（絶滅危惧 I A 類）



ノハナショウブ（絶滅危惧 I B 類）



サツママアザミ（準絶滅危惧）

---

### 第二次えびの市環境基本計画

発行年月：平成 30 年 3 月

発行：宮崎県えびの市

編集：えびの市 市民環境課

〒889-4292 宮崎県えびの市大字栗下 1292

TEL：0984-35-3731 FAX：0984-35-0401

HP：http://www.city.ebino.lg.jp

表紙及び本文の一部の写真は廣澤順也氏によるものです

---